3.　久しぶりに訪れた　九十九里

砂鉄の浜　飯岡浜と羽計台

2001.4.27.　bioka.htm by M.NAkanishi

古代の湖に広がる水田と香取台地
海上町　2001.4.27.

飯岡漁港とさの向こうに続く九十九里浜
飯岡　刑部岬から　2001.4.27.

4.27.　午後　約10年振り　九十九里　砂鉄の浜　飯岡浜まで　足をのばした。　「Iron　Road　鉄の道」を歩いてみようと考えたスタートが九十九里浜の北の起点　飯岡の浜。10年ぶりに訪れた飯岡灯台のある刑部岬はきれいな公園になっていた。
眼下にみえる飯岡漁港から南へまっすぐに伸びる九十九里浜　そして　その東には古代大きな湖があった海上町の水田がひろがり、その端に「たたら製鉄遺跡」が点在する香取台地もそのまま。

飯岡浜から刑部岬・犬吠崎を望む飯岡浜

風紋に混じる砂鉄

飯岡の浜におりると　沖には砂防のブロック堤防がならび、砂に混じる砂鉄の量が随分すくなくなったように思う。銚子から飯岡・九十九里へ向う峠の上にあり、昔随分世話になった教会へも上がってゆきました。
また、かつて住んでいた会社の寮のあった東庄香取台地の羽計台にも寄って見ました。
寮はもう別の建物に変わっていましたが、下総橘駅から羽計台への坂道も昔と変わらず静かな夕暮れ。

昔世話になった銚子の教会

羽計台の夕暮れ
古代の湖に遠々と広がる水田から九十九里

「羽計」の地名が「たたら製鉄」に関係有る地名と教えてもらったのはずっと後この地を離れてから。

訪れた夕方　日没前　羽計台の東側からは、房総・鹿島・香取の古代製鉄遺跡の連なる場所　鹿島製鉄所の大工場が見て取れ，また台地西には古代の湖の後の地に水田が夕日に映えていた。

この香取台地は古代から今に至るまで製鉄との関わりを持つ重要な地点であり、台地の北の端にある香取神宮もきっと鉄との関わりがあるに違いないとおもえる。

今はもう跡形もありませんが、この銚子から香取へと続く小高い台地が古代の『製鉄』の根拠地であったことを頭に浮かべながら、羽計台の台地の上を北へと帰って着ました。

羽計　なんとも奇妙な名前と思って生活していた昔，鉄との関わりを知って、もう一度この台地に立って見たいと思っていた。短時間ではあるが台地に立てた.
本当に夕日の素晴らしい夕暮れでした。

今度は是非ゆっくり　香取神社からこの台地を飯岡海岸へでて、銚子から利根川を渡り、砂鉄の砂丘が続く波崎日川浜　常陸風土記に砂鉄の記事が有る「若松」そして　鹿島神宮へ

時代の流れは無茶苦茶でしょうが 房総と常陸の国をつなぐ　iron　road 鉄伝播の道 をたどって見たいと思っています。

久しぶりに飯岡・東庄訪問
帰路利根川沿いバイクを走らせつつ

2001.4.27. by M.Nakanishi

2001.5.12.　by M.Nakanishi